

JSD カンファレンス 2021

プログラム



日 時：2021年6月19日（土）13:00-17:30

主 催：日本システム・ダイナミクス学会 (JSD)

開催方式：zoomによるオンライン双方向形式

プログラム

13:00 - 開会（会長挨拶）

<基調講演>

司会：高橋 裕

講演タイトル SDで何が表現できるのか？

講演者 末武 透 氏

日本未来センター

日本システム・ダイナミクス学会理事

講演概要 SD (system dynamics) モデルはストック、フロー、補助変数、そしてそれを連結する矢印だけでできている。SD モデルの基本型、あるいは SD モデルを構成するレンガのような要素は一次のモデルである。乱暴に言えば、SD モデルとは、この一次のモデルを複数、状態遷移 (pipeline) 構造と相互干渉 (interaction) 構造で繋いだだけであるに過ぎない。それでもモデルになり、対象を表現でき、さらには、複雑さを表現できる。そんな複雑な事項を表現するモデルに関し、モデルの振る舞いという観点で、基本型があり、それはシステム類型として知られている。同じくモデルの構造から見て基本型があると考えられているが、この分野はまだ十分研究されていない。ここまでは、SD 研究者や SD 実践家にはお馴染みの話であろう。

とは言え、そういった基本型を知っていれば全ての対象をモデルとして表現し、シミュレーションによって対象を分析できるわけではない。そもそも対象をモデルとして表現することが最初の作業になるのだが、そのためには、対象をどういった視点で理解するかが大切である。このことは、メンタル・モデルとか、世界観といった観点で述べられ、SD 研究での基礎研究の一つになっているし、経営学や工学では、標準的なメンタル・モデルとしてのフレームワークやパターン、アプローチ、モデル構造のようなものができている。私自身は、自然科学や工学系ではなく、社会科学系の対象をモデル化し、分析することをやっているのだが、特に、文学や歴史の問題をモデルにし、シミュレーションで対象を分析することをやっている。この分野は SD ではマイノリティであるが、そのマイノリティゆえに、まだ典型的なモデルパターンというものが存在しなく、従って、対象をどう理解するかという点で標準的なフレームワークやパターン、アプローチのようなものがまだ存在しない。それでも、最近になって、文学や歴史の問題をモデルに表現するために対象どう見るかという、その見方という観点でビジネス・モデルのような社会学系のフレームが有効ということを発見したので、そのことを述べてみたい。

<研究発表>

第1セッション 14:00~15:30

司会：明神 知

発表1 ITシステムの需要増加によるIT統制に対する影響のモデル化

○江崎 剛、高橋 裕 *

発表2 気象データと地理情報システムによる洪水災害軽減システムの構築

○金井 治樹、山本佳世子 ※

発表3 財務評価モデルによるバンコク都市鉄道の運賃改定の検討

○高野友宏、福田 敦、Varameth Vichiensan ※

(次頁 第2セッションへ続く)

- 発表4 中国の地方都市における電気自動車普及政策の評価に関する研究－中国・武漢市を対象として－
○周兆絲、菊池浩紀、積田典泰、福田敦、石坂哲宏 ※
- 発表5 新型コロナウイルス下の観光産業
○山下隆之 ※
- 発表6 Age-period-cohort モデルによる死亡率の長期推移に関するシステム・ダイナミクスモデル
○杉山雄大、美野輪和子、池田奈由、西 信雄 *「研究発表スタイル」
- 発表7 ソフトウェア開発における基本設計工程の期間によるプロジェクト成功率の影響
○榮谷昭宏、高橋 裕 ※
- 17:30 -閉会 (副会長)

※ 予稿有の発表：20分発表・10分質疑

* 予稿無の発表：12分発表・8分質疑 (研究発表スタイル)

本年度より予稿なしの発表は、通常の研究発表スタイルに加え、ディスカッションを中心とした討議スタイルでの発表も可能としております。

参加申し込み：

下記のWEBサイトより参加申し込みを、6月16日(水)までにお願ひします。翌日にzoomのURLを予稿集と合わせてメールにてお送りします。

<https://forms.gle/5X9hcjcranvN4tXw5>

上記申し込みは、googleフォームを用いております。会社のセキュリティー上の理由などで申込を出来ない場合は、conference@j-s-d.jpまで、お名前、所属、会員資格の有無をご連絡ください。

参加費：無料

zoomによるオンライン形式のため、昨年度より徴収しておりました参加費に関して、本年度は徴収しないことといたします。会員を問わず広くSDに関する研究を討議することで、SDのすそ野拡大を目指すことを意図しています。ぜひご周辺の方にご案内していただければ幸いです。

予稿集：

オンラインでの開催のため、予稿集の印刷配布は行いません。ご了承ください。PDF版の予稿集を参加申し込みいただいた方にお送りします。

発表方法：

発表者自身が、zoomの共有機能を用いて、PPTを写して発表を行います。

質疑応答：

発表終了後、声を上げていただき、司会が指名の後、所属と氏名を述べて、質問をしてください。

優秀発表賞：

JSDカンファレンス優秀発表賞表彰規定に基づき、優れた発表に対して表彰を行います。

その他：

録画・録音は禁止とさせていただきます。